

# 下都賀管内水稲技術資料 No.5

平成 29 年 7 月 10 日  
下都賀農業振興事務所

## 重点ポイント

早植えの出穂は昨年並みに早くなる見込み！  
穂肥の時期はほ場の生育状態で判断しましょう！  
普通植えは茎数が確保されたら、間断かん水へ！

### 1 気象の経過

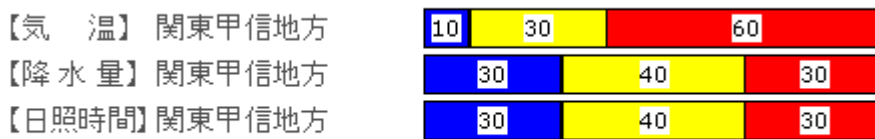
6 月は平年と比べ気温はやや高く、降水量は少なく、日照時間は多く推移しました。7 月上旬は、平年と比べ気温は高く、降水量、日照時間は共に多く推移しています。

表.小山市アメダス

	6/1-30	平年差・比	7/1-9	平年差・比
平均気温	21.6	+0.8	26.2	+3.3
降水量	76mm	51%	82mm	155%
日照時間	167 時間	142%	52 時間	166%

### 2 気象庁の 1 か月予報 (7 月 6 日発表)

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



凡例: ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

気温は高い見込みです。



### 3 早植え・水稲生育診断ほ(小山市間中)の生育調査結果

7 月 6 日時点では平年と比べ、草丈はやや高く、茎数は少なく、葉齢は進み、葉色は並みです。幼穂長は昨年同時期よりやや長くなっています。出穂は7月20日頃(5月3日移植)と予測されます。

表.水稲生育診断ほ(小山市間中)の生育調査結果

品種: コシヒカリ 移植日: 5月3日	本年 (7月6日調査)	平年	昨年 (H28)	生育診断指標値 (出穂前15日)	備考
草丈(cm)	76.0	73.6	82.3	-	平年比 103%
茎数(本/m <sup>2</sup> )	495.0	523.7	401.2	400~430	平年比 95%
葉齢	12.3	11.5	12.7	-	平年差 +0.8
葉色(葉色板)	3.9*	3.8	4.3	3.6~4.0	平年差 +0.1
生育診断値 (葉色×茎数)	1908.3	1974.6	1705.1	1,450~1,700	平年比 97%
幼穂長(cm)	2.23	-	1.37	-	-

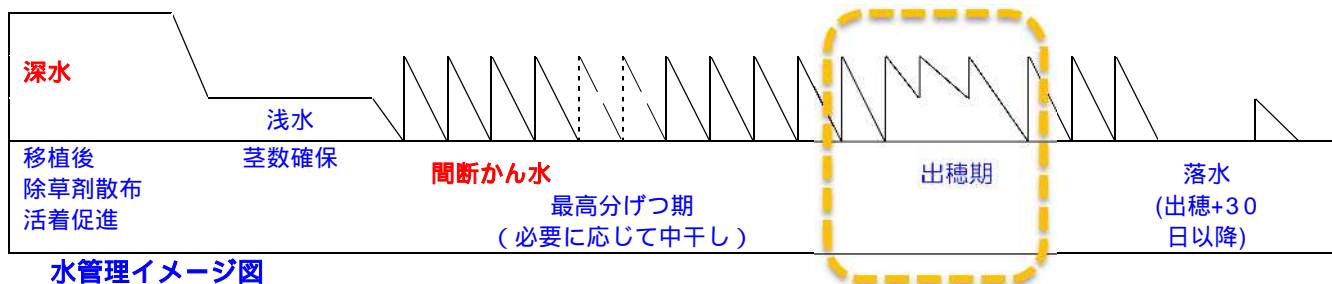
\* 本年は穂肥未実施(昨年は穂肥実施済み)

## 4 早植えの栽培管理

### 水管理

間断かん水を継続し、根の活力向上に努め葉色の低下を防ぎましょう。

**出穂期は最も水を必要とする時期です。**不足しないように注意しましょう。この時期に水が不足すると、受精や稔実に障害が起き、籾数が減少してしまいます。



### 穂肥

穂肥は出穂前 15 日（幼穂長が 2cm）に、BBNK-202 で窒素成分 3kg/10a が基準です。但し、水稻の生育状況で穂肥の施用時期は変わります。**必ず幼穂長で出穂前日数を把握**し、生育診断を実施したうえで施用時期を決定しましょう。

表 県中南部：早植コシヒカリの生育診断指標値（栽植密度 20 株/m<sup>2</sup>）

時期	葉色（葉色版）	茎数（本/m <sup>2</sup> ）	葉色 × 茎数
出穂前 30 日	3.9 ~ 4.2	470 ~ 500	1,850 ~ 2,100
出穂前 15 日	3.6 ~ 4.0	400 ~ 430	1,450 ~ 1,700

葉色が淡く、診断値（葉色 × 茎数）が**指標値以下**  
 葉色が濃く、診断値（葉色 × 茎数）が**指標値以上**

出穂 **18 日前**（幼穂長が **8mm**）  
 出穂 **10 日前**（幼穂長が **8cm**）

### 斑点米カメムシ

イヌビエやホタルイといった水田雑草や、メシバやエノコログサといった畦畔のイネ科雑草は斑点米カメムシ類の**誘引源、発生源、本田内へ侵入するための中継点**となります。

高温、少雨の条件下では、発生が多くなることが予想されます。

本田内の除草及び、水田周辺の草刈りを行い、カメムシ類の生息しにくい環境づくりを行いましょう。



アカヒゲホソミドリ  
カスミカメ

クモヘリカメムシ

水田周辺の草刈りは、**水稻の出穂 2 ~ 3 週間前、出穂期頃の 2 回行うと**イネ科雑草の子実が作られないので効果的です。

（2 回除草ができない場合は、**出穂期 10 日前まで**に除草をすませましょう！）

### 稲こうじ病

昨年多発した場合は、**出穂 10 日前まで**に効果的な薬剤を必ず散布しましょう。

防除適期をはずすと効果がみられないので注意が必要です。

液剤・粉剤...出穂 15 日前  
 粒剤 ...出穂 2 ~ 3 週間前



稲こうじ病

## 5 普通植・水稻生育診断ほ(栃木市寄居町)の生育調査結果

7月6日時点での生育は、平年に比べ草丈はやや高く、茎数は多く、葉齢・葉色は並みの状況です。全体の生育はほぼ平年並みです。

品種：あさひの夢 移植日：6月15日	本年 (7月6日調査)	平年	昨年 (H28)	備考
草丈(cm)	32.4	31.8	32.6	平年比 102%
茎数(本/m <sup>2</sup> )	329.0	296.0	268.0	平年比 111%
葉齢	7.6	7.6	7.9	平年差 ±0
葉色(葉色板)	4.5	4.6	4.8	平年差 -0.1
生育診断値 (葉色×茎数)	1465.8	1351.8	1286.5	平年比 108%

## 普通植・水稻生育診断ほ(小山市下石塚)の生育調査結果

7月6日時点での生育は、平年に比べ草丈は並み、茎数は少なく、葉齢はやや早く、葉色はやや淡い状況です。全体の生育はほぼ平年並みです。

品種：あさひの夢 移植日：6月13日	本年 (7月6日調査)	平年	昨年 (H28)	備考
草丈(cm)	37.8	37.7	37.2	平年比 100%
茎数(本/m <sup>2</sup> )	286.9	336.0	256.8	平年比 85%
葉齢	8.6	8.4	8.3	平年差 +0.2
葉色(葉色板)	4.8	5.2	5.2	平年差 -0.4
生育診断値 (葉色×茎数)	1362.8	1910.9	1325.0	平年比 71%

## 6 普通植の栽培管理

### 水管理

用水不足による移植の遅れや、苗の老化による活着の遅れなどの影響により茎数の少ない場合は夜間かん水、日中は浅水管理(水深 2~3cm)を行い、茎数を早期に確保しましょう。**必要茎数(360~380本/m<sup>2</sup>)**が確保されたら間断かん水に移行しましょう。

### いもち病

ほ場の「取り置き苗」は、**いもち病の発生源**となるので早めに処分しましょう。

### 縞葉枯病対策

農業環境指導センターより 5/31 付でイネ縞葉枯病の病虫害発生予察注意報が発表されており、県中南地域は**発生量“多い”**の発生予想となっています。下都賀管内でも昨年から引き続きヒメトビウンカの保毒虫率が高い地域があります。

縞葉枯病が多発した場合、収量に大きな悪影響を及ぼします。

罹病性品種(コシヒカリ等)、抵抗性品種(あさひの夢・とちぎの星)に関わらず、縞葉枯病のウイルスを媒介するヒメトビウンカの薬剤防除を行いましょう。なお、箱施用剤を使用したほ場で本田防除を行う場合は同一系統・薬剤の連用を避けましょう。

**防除適期** : 普通植栽培 7月上~中旬

### 問い合わせ先

栃木県下都賀農業振興事務所 経営普及部 農畜産課 0282-24-1101

HP <http://www.pref.tochigi.lg.jp/g54/index.html>